



アルファロメオ江戸川
ALFA ROMEO EDOGAWA

Racing on

- 10th Stage -

酷暑を乗り切った車には 冷却系のメンテナンスを オススメします



アルファロメオ江戸川
サービスフロント
酒井 英朗

お客様とクルマを整備するメカニックへの橋渡しを担当するサービスフロントとして活躍。元来メカニックでもあったため、チューニングやメンテナンスなどへのアドバイスは的確。

暑かった8月が過ぎ皆さまいかがお過ごしでしょうか。この記事を書いていられるのは毎月20日前後なのですが、9月はどんな月になっているのでしょうか。今年の夏は非常に暑く車にも非常に厳しい気候となりました。お盆の帰省や、ご家族とのお出かけで、酷暑の長距離走行をされる方も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。今回はそんな車のメンテナンスに付いて書いて行こうと思います。

クーラントのお仕事

まずはクーラント(LTC)です。皆さんは車の冷却装置がどの様な仕組みになっているかご存じでしょうか。車のエンジンは燃料を爆発させてそのエネルギーから動力を得るシステムです。この爆発の際に生じる熱は非常に高温です。しかもこの爆発が何回も続きます。何度も爆発が続くとエンジン高温になりエンジンが焼きついて壊れてしまいます。それを防ぐために冷却水を循環させてエンジンを冷やす水冷式の冷却装置御がアルファロメオやF1ATには装着されています。この循環させている冷却水がクーラント(LTC)です。クーラントの一番の仕事はエンジンの冷却ですが、その他にも重要な役割を担っています。

凍結防止 仮に冷却水に水を使用した際に冬季に冷却水が凍結してしまつたとします。水は凍結してしまつと体積が増加します。その誇張力によって冷却水の通り道やエンジン内部を破壊してしまいます。その為クーラントには水よりも凝固点が高い原料が使用されています。

防錆効果 冷却装置には多くの金属部品が使用されています。金属部品から錆が発生してしまい、冷却水の通り道や冷却装置内で目詰まりを起こしてしまい、オーバーヒートの原因となつてしまいます。その為クーラントは防錆効果を持っています。

沸点上昇効果 冷却水は長時間のドライブで温度がドンドン上昇していきます。特に最近の車はデザイン上エンジンルームのスペースが狭くなり、冷却装置が小型化されています。冷却装置が小さくなる=効率が落ちてエンジンの温度が高くなりやすくなつてきます。そうなると冷却水の温度もより高くなつてしまします。水ですと沸点が100度と低い為対応出来ず、オーバーヒートを起こしてしまいます。その為クーラントは沸点の高い原料が使用されています。



この様な仕事を沢山こなしているクーラントですが、皆さんは交換をされた事がありますか。クーラントを交換せずに長期間乗られますとラジエターやラジエターホースに穴が開き、ウォーターポンプ等を破損し、クーラントが漏れを起す等の不具合が生じることがあります。クーラントは熱により劣化していきます。劣

化してきたクーラントは酸化してしまつて、冷却装置等に使用されているアルミ部品が酸によって腐食されてしまうからです。近年の車では性能が良くなつてきておりますので、クーラントの量や汚れを点検・メンテナンスしつかりしていればオーバーヒートを起こして走行不能になる事も少なくなつてきています。ただしアルファロメオは熱が降り易いので定期的なチェックをオススメします。

酷暑はオイルにも 悪影響があります

次にエンジンオイルです。エンジンオイルも熱による酸化が起き、劣化していきます。酸化してしまったオイルは以前にも書かせて頂いた通り、潤滑力を失つてしまい本来の仕事が出来ず、エンジンの焼きつき等々重大な損傷を与えてしまつて原因になります。エンジンオイルの交換はアルファロメオやF1ATでは3千キロ、5千キロでの交換をお勧めしております。147や156等の低年式の車やFIAT500等は、エンジンオイルを消耗しがちです。クーラントも同様に低年式のお車はラジエターホースの亀裂が入つていたり、接続部に緩みが生じ、少量づつ漏れる事がございます。少量づつ漏れる事は非常に分らなつた為、気が付かない時が多々ございます。この機会に、猛暑の中を一生懸命走ってくれたお車に感謝を込めてこれらの点検をされてみてはいかがでしょうか。その他のお問い合わせ、ご相談もお気軽にスタッフまでお申し付け下さい。



フィアット江戸川・アルファロメオ江戸川



東京都江戸川区一之江2-7-9 TEL 03-3656-8989
営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週月曜 <http://www.alfa4u.jp>